

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	11 教員・教員組織(研究科)
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教員組織のありようについて、教員間でのコンセンサスを形成し、共有する	→関連する会議の開催回数	A	B	B		
2. 教員組織の整備状況についての見直しと、その内容に沿った対応を行う	→関連する会議の開催回数と改善に向けた取り組みの実践数	A	A	A		
3. 教員の任用・採用に関するプロセスを透明化し、教員組織の現状を絶えず改善するように留意する	→任用・昇任プロセスが内規等に準拠して実施されている割合	A	A	A		
4. FDに加え、教員相互間の教育研究に関する情報の共有を推進する	→情報共有のために開催される会議の開催回数	A	B	A		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	本課程の入学志願者が必ずしも学術研究志望の学生ではなく、実践的課題の解決を目指して学術的基礎を求める者が多いことに鑑み、教員・教育組織もそれにふさわしいものであるかどうかを常に検証していく必要がある。
目標2	本課程の発足当初はダブルカウント問題があり、教員・教育組織がやや手薄だったことは否めないが、平成24年4月から、本課程の研究指導教員および研究補助教員数がいずれも倍増されたことによって、学生のニーズに十分応えられる水準に達している。
☆ 目標3	平成23年8月に任用・昇任プロセスに係る内規を改訂・充実させ、当該内規に従って2011年12月には任用・昇任が進められている。
目標4	平成23年度中には、外部講師によるFDが開催されたほか、教員による指導内容の発表・検討会が行われるなど、情報共有のための機会が増えている。
備考	